資料１－３

令和８年度（2026年度）スポーツ振興関連事業の概要
（スポーツ振興課）

１　〇スポーツをする・みる・ささえる促進事業費

概　　要：北海道スポーツ推進条例を契機として、スポーツに参加する多様な主体のスポーツの「する」「みる」「ささえる」を促進するための各種施策を展開する。

事業内容　（単位：千円）

区　　分		予算額	R7（2025）実績
障がい者スポーツの推進	障がい者と健常者が参加するパラ競技体験会及びセミナー開催（千歳市１回）	2,957	運動会の実施 参加者数(6チーム43名)
	障がい者スポーツ団体への補助	1,000	補助団体：10団体
スポーツに親しむ環境整備	総合型地域スポーツクラブの設置促進・質的充実に関する取組に対して補助	2,000	(公財)北海道スポーツ協会
	既存総合型地域スポーツクラブの情報交換会の開催	129	情報交換会　2回
	市町村が実施する指導者向けスポーツ教室への指導者派遣	458	指導者派遣　2回
スポーツ観戦等に係る気運醸成	本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎えた体験型教室の開催 保護者を対象とした講習会の開催やハンドブックの配布	2,695	体験型教室　6回 参加者数　297名
セカンドキャリアの形成促進	引退選手等の活躍促進創出に向けたセミナーの開催	388	セミナー　1回 参加者数　44名
官民連携組織による協働の推進	障がいの有無にかかわらずスポーツに親しむ体験機会として「ボッチャ」の大会を開催	2,862	ボッチャ大会の開催 参加者数（延べ） 64チーム215名
	パリオリパラ開催による注目度の高まりを好機として、オリンピアン等を講師とするセミナー・実技等の体験会を実施	579	ー
	地域のアスリートや運動部活動をはじめ本道スポーツ振興への活用が期待されるスポーツ医・科学に関するシンポジウムを開催	441	ー
発掘・育成	有望選手発掘・育成事業 小中学生を対象に有望選手を発掘・育成（ｶｰﾘﾝｸﾞ） ・セレクションの開催 ・育成プログラムの実施 （競技トレーニング、フィジカルプログラム、合宿）	6,165	・ｾﾚｸｼｮﾝの実施 19名 ・育成プログラム 地域ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 通年実施 ﾌｨｼﾞｶﾙﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　週1回 合宿　7回

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026) 予算額	19,674千円	Ｒ７(2025)予算額	21,850千円

２　〇北海道パラスポーツ連携促進事業費

概　　要：健常者スポーツと障がい者スポーツの連携を促進、障がい者スポーツの裾野拡大と競技力向上に取り組むとともに、地域への定着を目指す。

事業内容　（単位：千円）

区　分	内　　容	予算額	R7(2025)実績
ﾊﾟﾗｱｽﾘｰﾄ発掘ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（toto助成金）	・実行委員会（年２回） ・タレントスカウティング(特別支援学校等で発掘活動) ・大学等と連携した測定会・体験会の開催（１回） ・発掘選手を対象にセミナー開催（年２回）	4,405	・パラスポーツ体験会及びセミナーの開催　5回 ・パラスポーツコーディネーターの配置 ・道内の障がい者スポーツ団体・チーム等を調査し、道HPで紹介
障がい者スポーツの実施環境の整備等に向けたモデル事業（スポーツ庁委託事業）	・実行委員会（年３回） ・地域人材（指導者・ボランティア）の育成 ・冬季障がい者スポーツイベントの開催	4,000	・冬季障がい者スポーツイベントの開催

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026) 予算額	8,405 千円	Ｒ７(2025)予算額	8,499 千円

3	○障がい者スポーツ振興費

概　　要：障がい者の体力維持や残存能力の向上を図り、スポーツ大会等を通じて道民の障がい者に対する理解を深めるため、大会の開催経費、指導者養成や普及促進事業等に対し助成を行う。((公財) 北海道障がい者スポーツ協会補助)

事業内容　　（単位：千円）

区　分	事　業　名	概　要　等	予算額	R7(2025)実績
大会開催事業	北海道障がい者スポーツ大会	・競 技：6競技（陸上競技、サッカー、ソフトボール、フットソフトボール、バスケットボール、車いすバスケットボール）	9,850	開催地：函館市他 参加選手：239名 陸上競技、車いすバスケットボール、バスケットボール以外は競技成立に必要なチーム数のエントリーがなかったため開催中止
	北海道障がい者冬季スポーツ大会	・競 技：2競技(大回転、距離)	1,557	開催地：美唄市 参加選手：24名 距離は開催中止
	はまなす車いすマラソン	・競 技：2競技 （ハーフマラソン、ショートレース（１km、２km)）	15,465	開催地：札幌市 参加選手：104名
障がい者ｽﾎﾟｰﾂ指導者養成事業	障がい者スポーツ指導員養成講習	・地域で障がい者ｽﾎﾟｰﾂの普及､組織の育成､実技指導にあたる者の養成	396	受講者数23名 （修了者22名）
	競技指導者研修事業	・障がい者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し競技規則､実技講習会を実施	4,516	受講者数84名
障がい者ｽﾎﾟｰﾂ普及促進事業	知的障がい者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障がい者を対象にスポーツ教室を開催し､実技､ルール等を指導	361	延べ170名参加
	身体障がい者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障がい者を対象にスポーツ教室を開催し､実技､ルール等を指導	293	
	精神障がい者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障がい者を対象にスポーツ教室を開催し､実技､ルール等を指導	368	
障がい者スポーツ普及振興事業		・障がい者スポーツに関する調査･研究､地方の障がい者スポーツの指導援助など障がい者スポーツの普及振興	586	障がい者ｽﾎﾟｰﾂの普及促進

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026) 予算額	33,392千円	Ｒ７(2025)予算額	33,392千円

4	○全国障害者スポーツ大会派遣事業費

概　　要：(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う全国障害者スポーツ大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金
補助内容：北海道選手団の出場に最低限必要な実費経費（交通費・宿泊費等）を(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。

事業内容　　（単位：千円）

区　分	内　容	R7(2025)実績
大会名称	第25回全国障害者スポーツ大会	特別全国障害者スポーツ大会
開催地	青森県	滋賀県
開催期間	令和8年(2026年)10月23日～26日（4日間）	令和7年10月26日～28日（3日間）
競技種目	14競技（個人競技）陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ （団体競技）バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、フットソフトボール、バレーボール、サッカー	北海道選手団： 選手69名、スタッフ45名派遣

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026) 予算額	30,425 千円	Ｒ７(2025)予算額	25,816 千円

５　○スポーツ競技力向上推進費補助金

概　　要：（公財）北海道スポーツ協会が実施する選手強化事業等に要する経費に対する補助
事業内容

（単位：千円）

事業名			事業内容	実施規模 R8(2026)	予算額	R7(2025)実績
指定指導者研修会			・実技を中心とした系統的指導法・技術の習得	50種目 130人	2,322	参加者　93人
選手強化事業	ジュニア強化合宿	道内合宿	・１年を通じて実施される道内の合宿	50種目 1,150人	61,759	42種目　延べ179回 参加者　3,265人
		道外合宿	・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿	44種目 330人		27種目　延べ52回 参加者　475人
	有望選手活動支援		・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援	対象10人 1人あたり20万円		対象９人
競技団体育成事業			・競技力向上推進委員会	２回	125	３回
スポーツ医・科学トータルサポート事業			・合宿地・国体会場等での医科学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営（調査研究）	３種目	7,689	医学サポート：11種目（ｻﾎﾟｰﾄｽﾀｯﾌ８人） 国体サポート：３種目（ｻﾎﾟｰﾄｽﾀｯﾌ12人）

担当課	スポーツ振興課	R８(2026) 予算額	71,895 千円	R７(2025)予算額	71,895 千円

６　○ジュニアスポーツアスリート強化育成事業費

概　　要：（公財）北海道スポーツ協会が実施するジュニア選手の強化合宿に要する経費に対する補助
事業内容

（単位：千円）

事業名	事業内容	実施規模 R8(2026)	予算額	R7(2025)実績
夏季ジュニアスポーツアスリート強化育成	将来トップ選手として活躍できる可能性のある選手を対象に、各競技団体が行う強化合宿に要する経費を支援	10種目	12,451	(道内合宿)８種目 参加者 267人 (道外合宿)９種目 参加者 178人
冬季ジュニアスポーツアスリート強化育成		７種目	12,175	(道内合宿)11種目参加者1,198人 (道外合宿)４種目 参加者　28人

担当課	スポーツ振興課	R７(2025) 予算額	24,626 千円	R６(2024)予算額	24,626 千円

７　○スポーツ団体活動費補助金

概　　要：（公財）北海道スポーツ協会が行う本道スポーツの振興と指導者の養成を図るため、事業に補助する。
事業内容

（単位：千円）

事業名	内容	予算額	R7(2025)実績
国民体育大会運営事業	国体予選会事業の一部補助　41団体	606	北海道予選会 40競技団体
競技団体育成事業	競技団体運営活動費助成　14団体	410	助成13団体
スポーツ指導員養成事業	ｽﾎﾟｰﾂ指導者ﾌﾞﾛｯｸ研究会　３会場	2,318	185人参加
スポーツ少年団育成事業	スポーツ少年大会　１会場 スポーツ少年団・シニアリーダー研修会　１会場	2,000	70名参加 19名参加

担当課	スポーツ振興課	R８(2026) 予算額	5,334　千円	R７(2025)予算額	4,534　千円

８　○北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費

概　　要：H22(2010).10月に北海道とソウル特別市が友好交流協定を締結したことを契機として、スポーツ分野の観点からソウル国際マラソンと北海道マラソンとの交流を図り、両地域の友好親善を深める。

１　事業概要
　○両地域における最大規模のマラソン大会のランナーの交流を図り、それぞれの大会をＰＲすることにより、一般市民ランナーの交流拡大をめざし、両地域の友好交流の促進とスポーツ振興を図る。

２　事業内容
　（北海道）選手受け入れ（ソウル国際マラソン出場者２名招待）
　　ソウル国際マラソン大会へ北海道知事賞を出賞
　（ソウル）選手受派遣（２名程度派遣）
　　ソウル特別市長賞出賞

※新型コロナウイルス感染症の影響によりＲ２、Ｒ３、Ｒ４は中止

担当課	スポーツ振興課	R８(2026) 予算額	250 千円	R７(2025)予算額	250 千円

9	○国民スポーツ大会等派遣費補助金

概　　要：（公財）北海道スポーツ協会が行う国民体育大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金
補助内容：北海道選手団の国体出場に最低限必要な実費経費（交通費・宿泊費・用具輸送費）を（公財）北海道スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。
事業概要
令和８年度（2025年度）派遣者数　1,061人（役員39名、選手・監督1,022人）

区　　分		令和７年(2025年)	令和８年(2026年)
ブロック大会		各競技による	各競技による
本　大　会		滋賀県（R7.9～10）	青森県（R8.10）
冬季	スケート アイスホッケー	青森県（R8.1～2）	山梨県、岐阜県、神奈川県（R8.1～2）
冬季	スキー	青森県（R8.2）	岩手県（R8.2）

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026）予算額	116,381千円	Ｒ７(2025）予算額	101,104千円

10	○札幌ドーム整備費補助金

概　　要：札幌市が建設した全天候型多目的施設（札幌ドーム）は、道民の生活文化の向上に資する施設であることから、建設費の一部に対し助成する。
［補助金交付先：札幌市］

事業内容：助成総額　100億円を限度
建設時(H10(1998)～H12(2000)）各4億円
償還時(H13(2001)～R13(2031)）各年度　負担額の範囲内

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026）予算額	365,000千円	Ｒ７(2025)予算額	365,000千円

11	○広域拠点スポーツ施設整備費補助金

概　　要：本道のスポーツの振興を図るため、広域拠点スポーツ施設として、帯広市が建設した屋内スピードスケート場に対し補助する。
［補助金交付先：帯広市］

事業内容：起債償還に対する補助
帯広市（H22(2009)～R11(2029)）

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026）予算額	51,103千円	Ｒ７(2025)予算額	51,334千円

12	○北海道スポーツ表彰経費

概　　要：スポーツの振興に寄与したもの及びスポーツの優秀な成績を収めた者を「北海道スポーツ賞」として顕彰することにより、スポーツを行うものに名誉を付与しその成績をたたえ、道民のスポーツに対する関心と熱意を喚起・高揚し、もって北海道のスポーツの振興を図る。

過去の受賞者数

区　　分	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
スポーツの振興に寄与した者	4	4	5	4	5	5
スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)	３４	4	１６	4	１０	１２
スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)	1	－	－	1	－	－
合　　計	３９	8	２１	9	１５	１７
特別表彰	－	－	－	－	－	－
スポーツ奨励賞（H20（2008）新設）	0	3	1	5	１０	5

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026）予算額	474千円	Ｒ７(2025)予算額	474 千円

13	○北海道立総合体育センター管理運営費

概　　要：道立総合体育センターの効率的運営を図るため、指定管理者へ負担金を支出する。
［指定管理者：（公財）北海道スポーツ協会］

施設概要等

施設名称	北海道立総合体育センター（開館：平成12(2000年)年2月13日）
所在地	札幌市豊平区豊平５条１１丁目１－１
主な施設	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室
指定管理者	（公財）北海道スポーツ協会
指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027)3月31日（５年間）

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026）予算額	300,158千円	Ｒ７(2025)予算額	260,156千円

14	○北海道立北見体育センター管理運営費

概　　要：道立北見体育センターの効率的運営を図るため、指定管理者へ負担金を支出する。
［指定管理者：（公財）北見市スポーツ協会］

施設概要等

施設名称	北海道立北見体育センター（開館：昭和57年(1982年)6月6日）
所在地	北見市東陵町２７　東陵運動公園内
主な施設	アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室
指定管理者	（公財）北見市スポーツ協会
指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日（５年間）

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026）予算額	59,689千円	Ｒ７(2025)予算額	54,256千円

15	プロサッカーチームキャンプ誘致事業費

概　　要：プロサッカーリーグの秋春制への移行に伴い、開幕前に実施されるキャンプの誘致を推進する。

事業内容　　（単位：千円）

項目	内容	予算額
ＰＲイベント	道内キャンプ情報を広く周知するなど機運醸成を図るイベント等を実施	4,623
交流事業	道内の青少年を対象としたキャンプ実施チームとの交流事業の実施	1,808
キャンプ受入アピール	道産米等の激励品贈呈の場を通じ、キャンプ受入を積極的にアピールすると同時に道産食品をＰＲ	1,973
計		8,404

担当課	スポーツ振興課	Ｒ８(2026)予算額	8,404千円	Ｒ７(2025)予算額	ー

令和８年度（2026年度）スポーツ振興関連事業の概要（総合政策部関連）

16	○北海道未来人財応援事業費

概　　要：本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」等により支援する。

事業内容
［スポーツコースの概要］　※他に学生留学、文化芸術、未来の匠の３コースを設置。

１　主な支援対象
・年齢　北海道在住の18歳から39歳の方
・対象　3～12ヶ月の海外研修
・人数　若干名

２　主な支援内容

滞在費　　（定額）	12万円/月又は16万円/月（留学先地域により変動）
往復渡航費（定額）	10万円又は20万円（留学先地域により変動） ※円安や急激な物価高騰を鑑み、上記に加え、アジア地域６万円、その他地域10万円を増額して支給。
授業料、研修費、入学金等及び大会参加費・機材運搬費	上限30万円

３　令和７年度（2025年度）実績
・スポーツコース　０名

４　その他
令和８年度（2026年度）の募集要項等詳細は、道ホームページに掲載。
※予算額は、スポーツコースのほか、文化芸術コース及び未来の匠コースを含んだ額。

担当課	国際課	Ｒ８(2026) 予算額	9,000　千円	Ｒ７(2025)予算額	9,000　千円

17	○地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）

概　　要：地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取組の促進を図るため、市町村等が地域課題の解決や地域活性化を目的に取り組む各種事業に対して支援する。

事業概要

(1) ハード系事業

交付対象事業	・社会教育文化スポーツ施設整備事業 （屋内・屋外スポーツ施設の整備事業）など※		
交付対象者 交付限度額	交付対象者	上限額	下限額
	・市町村	１億円	500万円
	・一部事務組合、広域連合	２億円	

(2) ソフト系事業

交付対象事業	・文化スポーツ振興事業 など※		
交付対象者 交付限度額	交付対象者	上限額	下限額
	・市町村	500万円	50万円
	・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等	1,000万円	
	・総合振興局長･振興局長が適当と認める者	300万円	10万円

担当課	地域政策課	Ｒ８（2026）予算額	4,750,000千円 （地域づくり推進事業分）	Ｒ７(2025）予算額	4,700,000千円 （地域づくり推進事業分）

令和８年度（2026年度）スポーツ振興関連事業の概要（保健福祉部関連）

18	○明るい長寿社会づくり推進事業費

概　　要：介護予防の観点から、高齢者のスポーツ・各種活動の推進組織づくり、社会参加活動の振興のための指導者等養成、仲間づくり支援、老人週間事業を総合的に実施する。

事業内容　（単位：千円）

項　　目	内　　容	R7(2025)実績
高齢者のスポーツ・健康づくり事業	・全道高齢者スポーツ等大会の開催 ・全国健康福祉祭への選手等の派遣	・10種目実施、参加者676名 ・17種目派遣、派遣者数104名
地域活動等推進組織づくり事業	地域活動を推進するための組織づくり	・自主活動10事業への支援
高齢者の社会活動の振興のための指導者育成事業	高齢指導者（シニアリーダー）の育成	・いきいきシニアセミナーの開催（R7.12） ・46名の高齢指導者の登録
老人週間事業	・全道高齢者作品展の開催及び老人週間啓発（パネル展の開催）	・来場者延べ1,091名

担当課	高齢者保健福祉課	Ｒ８（2026）予算額	24,954千円	Ｒ７(2025)予算額	24,976千円

令和８年度（2026年度）スポーツ振興関連事業の概要（経済部関連）

19	○北海道アウトドア活動振興環境整備事業費

概　　要：アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営や、アウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。

事業内容
- ○ アウトドアガイド資格等の認定登録・管理
  - ・ 資格認定証書等の作成・交付
- ○ 資格制度の運営管理
  - ・ 資格制度推進委員会の開催、ガイド意見聴取等
- ○ 資格制度の普及ＰＲ

【Ｒ７年度実績】
・資格認定等

区　分	件　数
アウトドアガイド資格新規認定	65件
アウトドアガイド資格更新認定	101件
アウトドアガイド検定合格認定	10件
アウトドア講習修了認定	130件

担当課	観光振興課	Ｒ８(2026) 予算額	373　千円	Ｒ７(2025)予算	336　千円

令和８年度（2026年度）スポーツ振興関連事業の概要（教育庁関連）

20　○学校スポーツ振興事業費

概　　要：学校スポーツ活動の普及促進を図るため、運動部活動における各種大会等に参加するための教員引率旅費を措置するとともに、全道大会の開催費について補助を行う。

事業内容　（単位：千円）

区分			事業内容	予算額	R7(2025)実績
全国大会	生徒引率旅費	中体連	・参加生徒の引率教員旅費	22,644	全国大会引率81校107人
		高体連（総合体育大会）		13,376	全国大会引率64校123人
		高体連（選抜等大会）		4,658	全国大会引率25校34人
		定体連		1,432	全国大会引率８校12人
		全盲体連		510	全国大会引率１校４人
地区大会	生徒引率旅費	中体連	・参加生徒の引率教員旅費	9,297	
全道大会	開催費	中体連	・全道大会開催費の補助	470	全道大会開催費補助470千円
		高体連		582	全道大会開催費補助582千円
		定体連		100	全道大会開催費補助100千円

担当課	健康・体育課	Ｒ８(2026)予算額	53,069千円	Ｒ７(2025)予算額	57,798千円

21　○学校体育推進事業費

概　　要：中学校の武道必修化を踏まえ、安全かつ効果的な授業の充実を図るため、外部指導者の派遣等を行う。

事業内容

区分	目的	事業内容	R7(2025)実績
武道等指導推進事業 ～国委託事業	・平成24年度（2012年度）から武道及びダンスが必修となったことから安全管理、指導体制の充実を図る ・武道授業における複数種目の実践など指導の柔軟化の実践研究を通した武道指導の充実 ・中学校における武道等の授業を安全に行うために、外部指導者等を派遣し、安全で効果的な授業の充実を図る	・武道振興協議会及び武道講習会の実施 ・武道指導推進モデル校の指定 ・町道場等から学校へ外部指導者派遣	・武道振興協議会の開催 ・武道講習会の開催 ・地域の指導者の派遣 柔道等４校 延べ６人

担当課	健康・体育課	Ｒ８(2026)予算額	3,876千円	Ｒ７(2025)予算額	3,876千円

22　○学校・家庭・地域の連携協力推進事業費

概　　要：放課後や週末等に全ての子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、学習や体験活動の機会を提供することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

事業内容　（単位：千円）

実施主体	項目	事業内容等	補助率	R7(2025)実績
市町村	放課後子供教室の実施	全ての子どもを対象に活動拠点を提供	国1/3以内 道1/3以内 市町村 1/3以上	実施市町村・教室数（政令都市、中核市除く） ・109市町村
	放課後子供教室の備品整備	開設備品(ｶｰﾍﾟｯﾄ、ﾃﾚﾋﾞ、机ｲｽ等)の整備		
	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの配置	学校、保護者、その他関係機関との調整 (児童ｸﾗﾌﾞとの調整)		
	運営委員会の実施	事業計画、安全管理方策、実施後の検証・評価等 (児童ｸﾗﾌﾞ含む)(構成員：行政、教職員、児童ｸﾗﾌﾞ関係者、PTA、地域住民等)		
北海道	地域学校協働活動推進会議の開催	実施方針、安全管理方策、実施後の検証・評価等 (構成員：行政、教職員、PTA、地域住民等)	国 1/3 道 2/3	年３回開催 構成員８名 アドバイザー４名
	放課後活動推進協議会の開催	放課後活動を支える人材の資質向上のため、放課後や休日等における子どもの活動拠点づくりに関わる方々方（地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、放課後児童支援員、教育活動サポーター、行政職員）を対象に、子どもへの活動支援の在り方を含めた専門的な講義や演習等を実施。		年６回開催 道内６会場 参加者1,271名

担当課	社会教育課	Ｒ８(2026)予算額	52,938千円	Ｒ７(2025)予算額	60,495千円

23	○学校部活動の総合的な支援体制構築事業費

【概　要】：教員の負担軽減及び部活動指導体制の充実を図るため、学校部活動に地域の外部人材などの部活動指導員を配置するとともに、指導方法の研修などを実施する。

【事業内容】　（単位：千円）

区　分	概　要	予算額	R7（2025）実績
部活動指導員の任用	・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施	道立学校：27,972 中 学 校：17,725	部活動指導員配置実績 ・道立学校：127校 247部活動 247人 ・中 学 校：34市町村 98校 153部活動 182人
指導の充実等に関する研修	・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施	404	
専門家による意見交換	・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定	269	

担当課	部活動改革推進課	Ｒ８(2026)予算額	46,370千円	Ｒ７(2025)予算額	45,632千円

24	○学校体育振興費（第43回日本中学校体育連盟研究大会北海道大会補助金）

【概　要】：令和８年11月開催予定の第43回日本中学校体育連盟研究大会北海道大会に対する補助

【事業概要】

目　　的	当該連盟に加盟する中学校の体育・運動部活動指導者が一堂に会し、当面する諸課題及びこれからのよりよい体育・運動部活動の目指す方向等について、日頃の実践的な研究成果を発表し、研究協議と情報交換をする機会とすることにより、生涯スポーツの充実・発展を資するために開催する日本中学校体育連盟研究大会に対して補助を行う
主　　催	（公財）日本中学校体育連盟、北海道中学校体育連盟、北海道教育委員会、札幌市教育委員会
期　　間	令和８年11月19日～20日（２日間）
会　　場	札幌市
内　　容	基調講演、分科会（研究発表及び協議）、シンポジウム
参加人数	計300名程度

【R7年度実績】
（Ｒ７開催地）愛知県（名古屋市）

担当課	健康・体育課	Ｒ８（2026）予算額	200千円	Ｒ７(2025)予算額	－

25	○部活動の地域展開支援事業費

【概要】
中学校における休日及び平日部活動の地域展開に向け、市町村の取組を支援する。

【事業概要】

区　分	項　目	事　業　内　容
○地方スポーツ振興費補助金 ○文化芸術振興費補助金	○部活動の地域展開に向けた市町村への支援 （補助：国1/3、道1/3、市町村1/3） ○実証事業（補助：国10/10）	○休日の地域クラブ活動費等の支援 ○地域展開に向けた市町村の体制整備等の支援 ○中学校における部活動指導員の配置支援 ○平日も含めた地域展開等加速化のための重点課題への対応に係る実証事業

【R7年度実績】
部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業（委託）42市町村
中学校における部活動指導員の配置支援（部活動）34市町村

担当課	部活動改革推進課	Ｒ８(2026)予算額	402,681千円	Ｒ７(2025)予算額	－

令和８年度（2026年度）スポーツ振興関連事業の概要（振興局）

26	○プロスポーツチームと連携したスポーツ推進事業　（上川総合振興局）

概　　要：地域資源でもある地元プロスポーツチームと連携した事業を広域的に展開し、管内のスポーツ活動等を推進する。

事業内容

目　　的	事　業　内　容	R7(2025)実績
地域資源でもある地元プロスポーツチームと連携した事業を広域的に展開し、管内のスポーツ活動等を推進	・ヴォレアス北海道によるバレーボール教室等実施 ・地域に根ざした独立リーグチームによる運動教室等実施	・R7.9開催　　参加者100名 ・R7.6～10開催　参加者326名

担当課	環境生活課	Ｒ８(2026)予算額	1,272千円	Ｒ７(2025)予算額	1,276千円

27	推します「おしま」！スポーツキャンプ&イベント広域誘致推進事業（渡島総合振興局）

【概要】
　Ｊリーグが８月開幕の「秋春制」に移行することに伴い、複数クラブをキャンプ誘致するほか、地域のキャンプの機運醸成を図るとともに、Ｊリーグ以外のサッカークラブのほか、各種競技のキャンプやイベントを誘致し、「おしま」ファン拡大に繋げ、関係・交流人口や経済効果の波及による地域活性化を目指す。

【事業概要】

項目	内容	予算額
Ｊリーグキャンプの誘致推進	・横断幕、関連冊子作成等Ｒ８キャンプへの各種取組を行う	4,081
他競技等のキャンプ・イベントの誘致推進	・Jリーグ以外の国内外サッカーカテゴリーや、他競技のキャンプ、イベントの誘致活動の実施	663
公共交通の利用促進・維持確保	・北海道新幹線開業10周年記念イベントの実施等	443
計		5,187

担当課	地域政策課、環境生活課	Ｒ８(2026)予算額	5,187 千円	Ｒ７(2025)予算額	―